

正誤表

「リハビリの心と力 3rd ed.」におきまして、誤りがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、以下のように訂正いたします。

2024年1月9日

正	誤	頁数
がんの進行に応じて、これらの障害が顕著となり、抗がん薬の投与や手術などでの副作用などがみられるようになれば、機能の改善や生活支援、就労支援に向けた「回復的リハビリ」を継続。さらに病状が進めば、機能維持、廃用予防、セルフケアの維持などを目標に「維持的リハビリ」を継続します。↵	がんの進行に応じて、これらの障害が顕著となり、抗がん薬の投与や手術などでの副作用などがみられるようになれば、機能の改善や生活支援、就労支援に向けた「回復的リハビリ」を継続。さらに病状が進めば、機能維持、廃用予防、セルフケアの維持などを目標に「維持的リハビリ」を継続します。↵	P165 がんのリハビリの目標

(学研メディカル秀潤社)